



筑後川下流総合管理所
筑後大堰管理所
2021年度入社 機械職

TAKAYAMA DAIKI

高山大希

〈現在の業務内容〉 筑後大堰におけるゲート設備等の機械設備の維持管理や修繕、筑後大堰の操作などを担当

〈就職先として選んだ理由と入社して良かったところ〉
福岡県出身で近年の豪雨災害を経験して、水の大切さを知ったのがきっかけで、近所に寺内ダムがあり機構の存在を知っていたので就職先として選びました。地元で就職先として選びました。地元の機構施設が災害等でたまにニュースで取り上げられる時、「この施設はうちの会社で管理している施設だよ」と施設を知っている友人に話している時に、入社して良かったなと思います。

〈一番印象に残っている業務内容〉
新卒の時、近隣の水路施設で大規模な漏水が起こり、その復旧対応を行いました。当時、機構からも現地へ排水ポンプ車を派遣しており、私もポンプ車の現地での設営と運用も兼ねて派遣されました。日頃から、設営訓練を行っており今回の漏水時に実働されたポンプ車を目の当たりにできたことが印象に残っています。

〈仕事をしていく上で大事にしている所感〉
筑後大堰に機械担当は私しかいないので、他の職種の方に機械業務を分かりやすく伝えるように意識しています。機械施設が壊れると貯水位の維持ができないなどトラブルが発生します。故障が水管理にどう影響するのか重要な点を押さえて簡潔に伝えていきます。その気持ちをお忘れず。今後、機構のプロフェッショナルな人材になれるように取り組んでいきたいです。

〈これから入社を希望する方へのメッセージ〉
同期や先輩職員とのつながりを大事にしてください。機械職が職場に一人という場合もあるのですが、なにか困った時に気軽に相談できる職員を増やしてください。また、機械設備は一点もので施設毎に全然特徴が違います。機械職として色々な施設の機械業務に挑戦してみてください。



思川開発建設所 調整課
2020年度入社 土木職

SUMIDA KOSUKE

角田康祐

〈現在の業務内容〉 思川開発事業に係る調整業務や工事の監督業務を担当

〈就職先として選んだ理由と入社して良かったところ〉
大学では、洪水や濁水が川の生き物に及ぼす影響について研究を行っていたので、学んだことが活かせるような水資源機構を就職先として選びました。機構の良い所は、上司や先輩が若手の目線に立って、親身に指導して下さるところだと思います。今後、先輩ができた際には、丁寧で分かりやすい説明の出来る優しい先輩を目指したいと思っています。

〈一番印象に残っている業務内容〉
様々な関係者に工事の説明を行っている、工事内容についてご納得いただけないことなどがあります。そんな時は、ご協力いただけるように粘り強く、丁寧な説明を心がけるようにしています。たくさん調整を経て、なんとか工事を進めることができるようになった時は嬉しかったです。今後も説明力を向上させるため、工事状況や概要についての情報をこまめに更新していきたいです。

〈仕事をしていく上で大事にしている所感〉
公共性のある組織の一員として、無駄をなくして日々の業務の効率化を意識しながら、仕事を進めるよう心がけています。調整課は機構と関係機関をつなぐ橋渡しのような役割を担っており、事業が円滑に進むように調整を行う必要があります。スムーズな調整業務を行うためにも、日頃から、人との付き合いを特に大切にしています。

〈これから入社を希望する方へのメッセージ〉
「体が資本」というように、仕事を頑張れるということは、心身の健康あつてのものだと思います。当たり前かもしれませんが、休日や有休の際はしっかりと休んで遊んだり、家族団欒のひとときを過ごせることが大事なのかなと思います。私の場合は休日にバスケットをしたり、有休を取った際は、ゴルフや釣りを楽しんでいきます。是非、自分や家族を大事にしてください。一緒に楽しくお仕事ができればいいなと思います。



連載企画 第2回 次代をつなぐ力

水資源機構の次代をつなぐ若手職員の皆さんに、就職先に機構を選んだ理由、これから入社を希望する方へのメッセージなどを伺いました。



豊川用水総合事業部
新城支所 用地対策課
2020年度入社 事務職

TAKAMOTO ARISA

高本ありさ

〈現在の業務内容〉 豊川用水施設の二期事業にかかる用地業務を担当。主に用地交渉、現地測量、登記申請等に従事

〈就職先として選んだ理由と入社して良かったところ〉
父がダムによく遊びに連れて行ってくれたことや愛媛出身で早明浦ダムの貯水率がニュースで報道されるなどダムに馴染みがあったので機構に就職しました。機構で働く職員の方はすごく穏やかな方が多く働きたいのが入社して一番よかったなと思います。また、転勤で色々な場所です事に挑戦できるのも魅力です。

〈一番印象に残っている業務内容〉
用地業務で最も大切な仕事は、事業に必要な土地について土地所有者等と買収や権利設定等に協力いただけるよう協議する仕事です。用地業務に携わって初めて用地買収に協力していただいた土地に工事が入り、徐々に機構の施設が出来上がっていく姿をみた時、機構の仕事は地元の方々との協力があつてはじめて成り立つ仕事なのだと実感したのが印象に残っています。

〈仕事をしていく上で大事にしている所感〉
仕事においては報・連・相を大事にしています。そのためにも色々な人から気軽に相談される職員になれるように今は意識しています。その所感をもとに用地業務では地元の方と話す機会を日々大切にしておき、コミュニケーション力を積み重ねこの仕事なら高本さんに任せておけば大丈夫といわれるような職員を目指していきたいです。

〈これから入社を希望する方へのメッセージ〉
機構の仕事は日々の暮らしを支える水を管理しており公共性が高い仕事なので、働きがいがあります。一方で全国転勤はどうしてもありますが、どの事務所で仕事しても仕事内容が違っているので新しいことにチャレンジできる環境があります。是非、機構でお待ちしております。



千葉用水総合管理所 管理課
2021年度入社 土木職

NISHIMAKI RYOTA

西牧遼太

〈現在の業務内容〉 千葉用水総合管理所内の工務事務、出先事務所との調整、防災・危機管理業務などを担当

〈就職先として選んだ理由と入社して良かったところ〉
大学では植物生態学や保全生態学を中心に学んでいました。就職活動では、公共性の高い仕事をしたい、大学で学んだことを活かせる仕事がしたいと思っていたため、機構に興味を持ちました。配水操作等の水運用からサケの採捕や外来種の駆除など、幅広い業務に携わることができているので良かったと感じています。

〈一番印象に残っている業務内容〉
最初に勤務した利根大堰での配水管理が印象に残っています。初めて施設操作を行った時に、大規模な施設の与える影響を考えると怖く手が震えました。しかし、『誰のために』『どんな水を』『どのように』を頭で学びつつ、実際に現場を見に行き確認することで、速やかにかつ正確に操作を行えるようになりました。機構の経営理念を体現したような、根幹にあたる業務を経験できてよかったです。

〈仕事をしていく上で大事にしている所感〉
少し考えて分からないことは、見聞きすることです。機構の仕事は広域かつ多岐にわたるので仕事の内容も全く違います。そのため、仕事をしていると分からないことがおのずと出てきます。その都度調べ、勉強はしますが一人で行き詰る時には、直属の上司や関係する課の先輩に聞くこと、図面で分からない時は実際の現場を直接見ることで、円滑に仕事を進められるように心がけています。

〈これから入社を希望する方へのメッセージ〉
機構に興味を持ったきっかけはなんですか？まずは、その思いを大切に仕事に励んで欲しいです。その気持ちは仕事のモチベーションにつながります。また、機構に入ると当然分らないことだらけだと思いますので、気軽に上司に相談し、一人で頑張る過ぎないようにしてください。何かあればいつでも相談をお待ちしております。

